

第十一回 神戸能

平成31年3月21日(木・祝)
午後1時開演(午後12時半開場)
神戸文化ホール 中ホール

能 百万

法楽之舞

勝部延和

能 狂言 蝸牛

善竹忠重

能 殺生石 田中章文

白頭



主催/ 公益社団法人 能楽協会
共催/ 公益財団法人 神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール
全席自由席(税込) 4,700円 学生1,800円
※未就学児の入場はご遠慮いただきます。

第十一回神戸能イベント神戸能解説セミナー ※各区民センターは事前申し込みが必要です。
※セミナー料金 500円 (※本公演のチケットの提示でイベント入場料無料)
須磨区民センター (☎078-735-7641) 2月11日(月・祝) 神戸文化ホール大ホールロビー 2月14日(木)
開場13:30 開演14:00 受付開始日:12月11日(火) 開場13:30 開演14:00 発売日:12月14日(金)
西区民センター (☎078-991-8321) 2月28日(木) ※神戸文化ホールは神戸文化ホールプレイガイドのみ
開場13:30 開演14:00 受付開始日:12月11日(火) にて取り扱い

チケット発売日
文化ホール友の会先行発売:
2018年12月11日(火)10:00~
一般発売:2018年12月14日(金)10:00~

■ チケット発売
神戸文化ホール プレイガイド ☎078-351-3349
チケットぴあ(Pコード:490-171) ☎0570-02-9999
ローソンチケット(Lコード:53835) ☎0570-084-005
eプラス (http://eplus.jp)
CNプレイガイド ☎0570-08-9999

■ 交通…地下鉄「大倉山駅」下車すぐ、
「JR神戸駅」・「高速神戸駅」から北へ徒歩10分
■ 問い合わせ先…
神戸文化ホールプレイガイド ☎078-351-3349

第十一回 神戸能

2019年3月21日(木・祝)午後1時開演(午後12時半開場)

解説 笠田昭雄

能 「百万」 法楽之舞

百万	勝部 延和	後見	橋 保 向
百万の子	吉井 晟朝		森 壽 子
里人 釈迦堂 門前の者	江崎 欽次郎	地謡	上 田 貴 弘
	善竹 忠亮		笠田 稔
笛	左 鴻 雅 義		吉井 基 晴
小鼓	古 田 知 英		山 田 義 高
大鼓	辻 芳 昭		笠田 昭 雄
太鼓	梶 谷 義 男		藤 谷 音 彌
			上 田 宜 照
			笠田 祐 樹

狂言 「蝸牛」

山伏	善竹 忠重	後見	善竹 忠亮
主人	小林 維毅		
太郎冠者	岡村 和彦		

休憩

能 「殺生石」 白頭

里女 野千の精 玄翁道人 玄翁の従者	田中 章文	後見	上野 朝 義
	是川 正彦		長山 耕 三
	牟田 素之		佐伯 紀久子
笛	八木原 周平	地謡	藤井 完 治
小鼓	高橋 奈王子		山村 啓 雄
大鼓	大村 滋 二		上田 拓 司
太鼓	上田 慎 也		下川 宜 長
			上田 大 介
			藤井 丈 雄
			梅 谷 宏
			上田 顕 崇

能 百万 法楽之舞

吉野の男(ワキ)が奈良・西大寺で男の子(子方)を拾ったので、その子を持って京都・清凉寺で催される大念仏に参加します。そこへ百万という狂女が現れ、さまざまに面白く狂って見せます。そのうちに百万は、夫を亡くし、忘れ形見の我が子と生き別れてしまい、正気を失ったことを語りつつ狂乱し、子どもとの再会を仏に祈るのでした。



その様子を見ていた子どもは、百万が自分の母親だと気づき、同行の男に、出身地や正気を失った理由を尋ねるよう頼みます。すると百万は、自分は奈良の者であるが、夫とは死別し、一人の子どもと生き別れたことを語り、人前で恥をさらすのも子どもと逢うためだと言ひ、さまざまな舞を舞います。

その姿に男は心を動かされ、男の子を百万に逢わせませす。百万は喜び、仏法の功德に感謝し、奈良へ帰るのでした。

狂言 蝸牛

太郎冠者は主人から「蝸牛」ととって来るように命じられますが「蝸牛(カタツムリ)」を見たことがなく、どんなものかわからず、竹やぶで寝ていた山伏を蝸牛と思い込みます。カタツムリになりすました山伏は、「でんでんむしむし」と囁します。そこに現れた主人は「あれは蝸牛ではなく山伏だ」と説得しますが次第に太郎冠者と主人を巻き込んでいくのでした。



能 殺生石 白頭

玄翁という僧が下野国那須野の原(栃木県那須郡那須町)を通りかかります。そこには大きな石があり、その石の上を鳥が飛ぶと、すべて落ちてしまいます。不思議に思い、石に近づいて見ようと思いますが、女が現れ、近寄ってはいけないと玄翁に教え、石の由来を語ります。



「その石は殺生石と言ひ、近づくものすべてを殺してしまう石です。この那須野の原で命を落とした、狐の化け物である玉藻の前という女性の魂が石となったのです。」

そう語り終えると女は、実は自分が殺生石の石魂であると明かし、石の中に隠れて消えてしまいました。

玄翁は、石魂を成仏できるように法事を執り行います。すると石が割れて、野干(狐の妖怪こと)が姿を現します。野干は、天竺(インド)や唐(中国)でも世に乱れをもたらしたことを語ります。

そして今、僧が成仏をしてくれたので、今後は悪事をいたしませんと、固い約束をし消えていきます。

神戸文化ホール

